



▲恒例となっている東京登別げんきかい総会での鬼盛り

第30回東京登別げんきかい総会・懇親会
11月10日(土)、東京圏で生活する登別市にゆかりのある人々で構成されたふるさと会『東京登別げんきかい』の総会と懇親会が、羽田空港国内線ターミナルで開催され、会員や関係者など約100人が、設立30周年を祝うとともに、ふるさと登別を思う気持ちを新たにしていました。
平成元年に発足し、長きにわたり登別市に関する情報を東京圏で発信し続けてきた『東京登別げんきかい』。
8月には、『ふるさと登別応援ツアー』として、登別を訪れ、川上公園に記念植樹を行うなど、登別への思いを形にする同会会員は、ふるさとへの話を花を咲かせていました。

永きにわたる安心を

登別市共同墓供用開始

11月1日(木)、富浦町の第二富浦墓地内に完成した『登別市共同墓』の供用が開始されました。家族だけではなく、さまざまな方の焼骨を納骨する共同墓は、少子高齢化や人口減少が進む現代において、需要が増しており、供用開始日までに68件129体の申し込みに加え、301人から生前予約を受けています。

納骨初日となった11月7日(水)には、18体を収容。納骨期間は、4月から11月までとしていますが、申し込みは随時受け付けていますので、市民サービスクラウド(☎852139)に問い合わせください。

11/1



▲3,000体の焼骨が収容可能な『登別市共同墓』

ふるさとを応援して30年

第30回東京登別げんきかい総会・懇親会

11/10

永年の功績をたたえて

平成30年度登別市功労者表彰・登別市表彰表彰式

11/3



▲これまでの功績をたたえられた受賞者



▲市長から表彰状を受け取る受賞者

11月3日(土)、市民会館で、『平成30年度登別市功労者表彰・登別市表彰表彰式』(市主催)を開催しました。

登別市功労者表彰・登別市表彰は、永年にわたり登別市の行政や社会福祉などに貢献され、市民の模範となる行いをされた方や団体を表彰するものです。

今年度は、登別市功労者5人、登別市表彰23人・1団体(自治貢献表彰9人、社会貢献表彰8人、教育文化貢献表彰3人、篤志貢献表彰1人・1団体、善行表彰2人)を表彰しました。

表彰式では、受賞者の紹介や市民憲章の唱和などを行った後、小笠原市長が式辞を述べ、受賞者や受賞団体の一人ひとりに表彰状などを手渡しました。

受賞者を代表し、功労者表彰を受賞した中川信市なかがわしんいちさんが、「本日の受賞は、多くの皆さんの永年にわたる温かいご指導とご支援のたまもの。この感銘を胸に刻み、市勢の発展と振興のために努力していきたい」と謝辞を述べ、受賞者は、表彰の喜びと重みを実感していました。